
カルナリ州

ネパールにおける「学校の衛生環境を整えるプロジェクト」

ネパール北西部の山岳地帯にあるカルナリ州は国内でも所得の低い州※1です。インフラ整備も遅れ必要な時に安全な水を屋内で利用できる人の割合は4%弱※2。生理に対する否定的な考えも強く残っています。また、男女別の適切なトイレが不足していることから、生理期間中に学校を休む女の子が多く、勉強の遅れが中途退学につながる原因にもなっています。

※1 Nepal Human Development Report 2020, UNDP
※2 Multi Index Cluster Survey 2019 Nepal, UNICEF

生理期間中も学校に通いたい

一口 100 万円プロジェクト

トイレと手洗い場を整え子どもたちの学びの継続を支援

一口 100 万円で、個人もしくはグループでご支援いただくプロジェクトです。

ご支援いただくと……
- お名前の入った記念プレートを設置します
- プロジェクトの進捗報告書をお届けします
- 活動地域をご訪問いただけます＊
- 税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けられます

＊現地事情により訪問できない場合があります

◀ プロジェクトの詳細は裏面をご覧ください。

募集期間：2022.10/3（月）～2023.1/27（金）

ネパールにおける
「学校の衛生環境を整えるプロジェクト」

老朽化が進み数も不足している学校のトイレと手洗い場を新設・修繕し、子どもたちが安全で衛生的な施設を利用できるよう支援します。また、教師、関係者へのトレーニングを実施します。学校全体で、衛生意識と月経衛生管理の知識を高め改善に取り組むことで、特に生理中の女の子が安心して通学し、自尊心をもって教育を受け続けられるよう後押しします。



●活動期間 2023年4月～2024年3月（予定）

●実施地域 カルナリ州カリコット郡

●おもな活動内容
- ネパール政府の基準に沿った学校の男女別トイレの建設と修繕
- 生理中の女の子たちが着替えや休憩に使う部屋の設置
- 学校の給水設備の設置と修繕
- 水と衛生、月経衛生管理の意識啓発活動
- 教師、学校運営委員会への水と衛生、月経衛生管理の意識啓発とトレーニング
- 児童・生徒への水と衛生、月経衛生管理の意識啓発と生理用ナプキン制作のトレーニング


男女共用のトイレ。隙間から虫や蛇が入りこむことも


対象校の現在の手洗い場


手洗い場を使う子どもたち

●対象者
- 対象校に通う児童・生徒約1,300人
- 教師、PTA、保護者など約70人

※学校は日本の中学生に当たる10年生までが対象に含まれます

活動地域の子どもたち





「生理が女の子の教育の妨げになってはいけない」と訴える女の子

●予算 2,500万円

このプロジェクトは以下の持続可能な開発目標（SDGs）に貢献します
目標 4　質の高い教育をみんなに
目標 5　ジェンダー平等を実現しよう
目標 6　安全な水とトイレを世界中に



これまでの参加者の声

学校を建設するだけでなく、女子教育の重要性を啓発した活動が良かったと思います。

支援に参加することで生活が変わりました。自分に何かできることはないかと考えるようになりました。支援することで支援してもらったと感じます。

プロジェクト担当者からのメッセージ



ディクシャ・バット（カルナリ活動地域事務所）

プロジェクトの対象校は遠隔地にあり、衛生施設が整っていません。トイレの壁はひび割れ、昆虫や蛇が入りこむこともあります。悪臭もあるため、トイレを嫌がる子どもたちは空き地で済ますことも。特に女の子たちは、生理用品を交換・廃棄する場所もなく生理中は学校を休みがちです。トイレの建設は子どもたち、とりわけ女の子たちにとって、学校生活を快適にし、学習を支える大切な支援です。皆さまのご支援で学校の状況を改善し、子どもたちの顔を笑顔でいっぱいにしたいと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

プロジェクトに関するお問い合わせは、以下へお気軽にご連絡ください。あたたかいご支援をお待ちしております。

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン　〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22 サンタワーズセンタービル 11F
「一口 100 万円プロジェクト」担当
Mobile：080-7739-3430　TEL：03-5481-7100　E-mail: hello@plan-international.jp
※ウェブサイトの「一口 100 万円プロジェクト〈ネパール〉」紹介記事のフォームからお問い合わせ、お申し込みいただけます